

報告第1号 令和元年度事業報告について

自 平成31年4月 1日
至 令和 2年3月31日

I 令和元年度は、県・市町の支援と社員各位の協力を得て、次のとおり事業を実施した。

1 分収造林事業（定款第4条第1項第1号、3号）

45年生以上の伐期を迎えたヒノキの主伐事業を、少花粉スギへの植え替えに係る補助制度を活用して主伐事業と再造林を実施した。

また、80年生の長伐期であるスギを中心に組み込んだ利用間伐事業は、事業量の拡大に努め、限られた事業体労務の平準化を図るため、2カ年施工を積極的に活用して事業に取り組んだ。その結果、令和元年度末の造林面積は19,399haとなっている。

一方、経営改善対策として、間伐に伴って発生する林地残材等を木質バイオマス発電燃料に活用して収入の拡大に取り組むとともに、日本政策金融公庫の借換資金の活用による資金調達の円滑化を図った。

(1) 主間伐事業

補助制度を活用した主伐事業を行い、造林補助事業を活用した利用間伐事業や作業道開設を積極的に実施し、木材の有効利用に努めた。

① 収入

区 分	事 業 量		販 売 額（円）	
主 間 伐 等	271.56ha	28,388m ³	386,648,581	
	主 伐	11.37ha	4,386m ³	58,649,287
	利 用 間 伐	260.19ha	24,002m ³	327,999,294
立 木 補 償	1.37ha		1,762,530	
計	—		388,411,111	

(注1) 販売額には補助金収入（170,373,747円）を含む

(注2) 別途利用間伐事業を2カ年施工として159haを実施中

② 経費

区 分	内 容	事 業 費（円）	
主 間 伐 等	伐採搬出費等	290,292,607	
	主 伐	11.37ha (4,386m ³)	35,058,949
	利 用 間 伐	260.19ha (24,002m ³)	255,233,658
立 木 補 償	調査費等	254,000	
計	—	290,546,607	

(2) 再造林

補助制度を活用し、スギ少花粉苗の植栽と獣害防護柵の設置を行った。

区 分	事 業 量	事 業 費（円）
植 栽	7.82ha	6,738,600
防 護 柵 設 置	4,987m	18,020,200
計	—	24,758,800

(3) 保育事業

森林の適正管理をめざし、将来優良な木材が収穫できるよう、造林補助金や「新ひょうごの森づくり」の「森林管理100%作戦」推進事業を活用し保育間伐を実施した。

区 分	事 業 量	事 業 費(円)
間 伐	126.22ha	20,439,428

(4) 作業道の開設等

令和元年度末現在の延長累計は597,477mとなり、造林面積1haあたりの作業道密度は30.8mとなった。

区 分	事 業 量	事 業 費(円)
作 業 道 開 設 等	44,105m	97,578,243

2 県営分収育林事業（定款第4条第1項第2号、3号）

多面的機能の高度発揮と、暮らしを支える付加価値の高い木材生産(100年生の森づくり)をめざし、利用間伐事業や作業道の開設等を実施し、令和元年度末の分収育林面積は2,363haとなっている。

(1) 利用間伐事業等

造林補助金を活用して保育費の低減が見込める林分を対象に利用間伐事業を実施し、間伐材の有効利用に努めた。

① 収 入

区 分	事 業 量		販 売 額(円)
利 用 間 伐 等	3.90ha	335m ³	4,410,082

(注) 販売額には補助金収入(1,772,000円)を含む

② 経 費

区 分	内 容	事 業 費(円)
利 用 間 伐 等	伐採搬出費等	3,374,913

(2) 作業道の開設等

区 分	事 業 量	事 業 費(円)
作 業 道 開 設 等	385m	847,778

3 県有林等の管理等受託事業（定款第4条第1項第5号）

県民の憩いの森として利活用している県有林や県有環境林、県が分収造林契約により造成した県行造林において巡視や森林の保育等の維持管理事業を実施した。

区 分	箇所数	面積	事業費(円)
県有林・県行造林 〔巡視等財産管理〕	9	276.27ha	22,444,400
県有環境林 〔林内巡視等〕	11	1,207.86ha	18,277,560
森林保全実施箇所	(4)	—	
計	20	1,484.13ha	40,721,960

(注) 箇所数の () 書きは内数

4 森林整備事業（定款第4条第1項第3号、6号）

兵庫県が進めている「災害に強い森づくり」の実行機関として、森林の防災機能を高めるため、県民緑税を活用した里山防災林整備、野生動物共生林整備及び緊急防災林整備（溪流対策）にかかる基本計画調査、整備造成工事を実施した。

（1）里山防災林整備

集落裏山で山地災害防止機能等を高める必要がある里山林において、森林整備に併せて、簡易な防災施設や歩道の整備を実施した。

区 分	箇所数	事 業 量	事業費(円)	備 考
基本計画調査	20	284ha	163,823,000	神戸市北区大原ほか 13市町
整備造成工事	20	326ha	338,042,100	たつの市揖西町尾崎ほか14市町
計	—	—	501,865,100	

（2）野生動物共生林整備

農作物被害や精神的・身体的被害が生じるなど、野生動物と人とのあつれきが生じている地域において、人と野生動物との棲み分けゾーンの設置や広葉樹林の整備を実施した。

区 分	箇所数	事 業 量	事業費(円)	備 考
基本計画調査	15	306ha	83,930,000	加西市坂本町ほか 9市町
整備造成工事	16	305ha	193,204,000	高砂市阿弥陀町ほか 9市町
計	—	—	277,134,000	

（3）緊急防災林整備（溪流対策）

土石流や流木災害が発生する恐れのある危険溪流を対象に、溪流沿いの危険木を除去するとともに、深根性の広葉樹の植栽や簡易流木止め施設の設置を実施した。

区 分	箇所数	事 業 量	事業費(円)	備 考
基本計画調査	17	47ha	47,235,100	豊岡市城崎町飯谷ほか 4市町
整備造成工事	19	130ha	257,592,617	丹波篠山市桑原ほか 7市町
計	—	—	304,827,717	

5 緑化事業（定款第4条第1項第4号、6号）

兵庫県が進めている「新ひょうごの森づくり」を推進するため、「森林管理100%作戦」推進事業など緑化基金を活用し、森林の整備等を支援した。

また、森林が持つ多面的機能の維持・増進等を目的として、公共施設周辺等の森林の整備や緑地維持管理業務をはじめ、森林整備計画の策定や設計積算業務を受託して実施した。

（1）緑化基金による森林の整備造成等事業

事業名	事業量	事業費(円)
「森林管理100%作戦」推進事業	2,354 ha	41,161,494
広葉樹林化促進パイロット事業	16 ha	8,473,080
住民参画型里山林再生事業	183 ha	4,800,000
資源循環林造成パイロット事業	18 ha	5,777,000
企業の森づくり推進事業	1式	1,512,000
計	—	61,723,574

(注) 企業の森づくり推進事業は、収益事業等(緑化推進助成事業)で実施

（2）受託事業

区分		件数	事業費(円)
兵庫県	農政環境部	6	47,629,720
	県土整備部	4	24,224,200
	企業庁	1	1,573,000
市町等		4	63,017,900
計		15	136,444,820

6 県立三木山森林公園管理運営事業 (定款第4条第1項第10号)

(1) 管理運営

兵庫県から指定管理を受け、「森林づくり施業計画」に基づき森林の健全性や多様性の確保のため、「森林の若返り」を目指した低林管理等の森林整備を実施した。
 また、希少種を含む動植物などの生物多様性の保全・再生に向けたススキ・チガヤ草原や「チョウの森」「トンボ公園」等の環境整備を実施した。
 「参画と協働」の理念に基づき、三木山サポーター活動などに取り組むとともに、文化・スポーツ・レクリエーション活動を通じて、人と森林とのふれあいを育み、広く県民に親しまれる公園(面積約81ha)として管理運営を実施した。

事業内容	事業費(円)
① 入園者数 : 572,703人 ② 施設等利用件数 : 4,686件 ア 音楽ホール : 176件 イ 多目的ホール、研修室 : 118件 ウ 森の風美術館 : 78件 エ 会議室 : 204件 オ 森のクラフト館 : 3,492件 カ 茶室 : 15件 キ その他 : 603件 ③ 施設や活動内容等の情報提供 ア イベントチラシの作成 : 75,000部(年3回) イ ホームページ、新聞、雑誌等による情報発信 ウ 展示室を利用した生物多様性の普及啓発等 ④ イベント等の企画実施 ア 公益事業:自然観察会など普及啓発イベントを実施(38回 25,642人) イ 収益事業:季節コンサートなど自主イベントを実施(11回 11,544人) ⑤ 多様な森林づくりの計画実施 ア 森林管理 森林づくり : 低林管理ほか 2.98ha 自然環境調査 65.3ha 樹木管理 : 剪定等(中高木 50本、低木 7,320㎡) イ 生物多様性の保全・再生 「生物多様性戦略」に基づくチョウの森、トンボ公園整備 草原・水辺環境整備 : ススキ・チガヤ草原整備、水路整備ほか 全国的な「里地モニタリング1000」調査 ウ 芝生管理 : 芝刈り・目土エアレーション等 3.0ha エ 花壇の花植替 : 4回 ⑥ 森林・緑化に関する知識の普及等 ア 自然環境学習 : 16小学校、延べ30回 イ 緑化相談等技術指導 : 440件 ウ ポスター展示等による啓発 ⑦ 維持管理業務 ア 公園用地の巡視管理、建物施設の維持管理 ほか イ 小規模修繕 : 非常放送スピーカー改修ほか ウ 大規模修繕 : 防犯カメラ設置・森の三角橋改修ほか	124,577,502

(注) イベント等企画実施の収益事業は収益事業等(施設利用者等への利便提供事業)で実施し、収益は公園の管理運営経費に充当。

【参考】兵庫県が、老朽化の進んだ公共施設について「兵庫県公共施設等総合管理計画」に基づき、大規模な修繕を実施。

主な工事内容

- ・外壁改修工事
- ・電灯改修工事
- ・空気調和設備改修工事
- ・エレベーター改修工事
- ・自動火災報知設備更新工事
- ・消火設備更新工事
- ・自家発電設備更新工事

7 農地集積・集約化推進事業（定款第4条第1項第7号）

（1）農地中間管理事業

平成26年3月1日に施行された「農地中間管理事業の推進に関する法律（平成25年法律第101号）」に基づき、兵庫県知事から農地中間管理機構の指定を受け、農地中間管理事業を実施した。

事業内容		戸数・経営体数	事業量	事業費(円)
農地中間管理事業 による貸借	借受	1,827戸	605 ha	153,074,404
	貸付	305 経営体	568 ha	

(注) 令和2年3月末時点の貸付累計4,458ha

[推進活動の実施状況]

- ① 推進会議及び県域・地域推進協議会の開催 12回
- ② 評価委員会の開催 1回
- ③ 市町・集落等への説明回数 延べ1,883回
- ④ 新聞広告掲載 5回、シンポジウムの開催 1回<参加者 548名>
- ⑤ 公社HPでの貸付可能農地紹介(47件 26.9ha)
- ⑥ 「いきいき農地バンク方式」の普及
 - ア 地域全体で農地の保全・活用を進める取組みを推進
 - イ 普及啓発資料(マンガ、動画等)作成
 - ウ 9地区で推進、うち3地区(49.3ha)で貸付
- ⑦ プロポーザル方式を活用した北淡路地区における企業参入の推進
 - ア 淡路市国営農地開発地13haで公募し(7事業者が応募)、3事業者を選定
 - イ 令和3年度農地中管理機構関連農地整備事業に着手予定。
令和5年1月営農開始予定。

（2）農地中間管理機構の事業の特例（売買事業）等

規模縮小する農業者から農地を買入れ、規模拡大を目指す認定農業者等に売渡しを行ったほか、農作業受託で規模拡大を目指す認定農業者等に資金の支援を継続している。

事業内容		件数	事業量(ha)	事業費(円)
農地中間管理機構の 事業の特例 (売買事業)	買入	5	1.2	4,331,200
	売渡	5	1.2	4,331,200
農作業受託促進事業	新規	1	2.5	5,500,000
	継続	1	8.5	—

8 農業後継者育成事業（定款第4条第1項第8号）

（1）農業後継者育成事業積立資産活用事業

農業後継者の育成、資質向上を目的に、青年農業士や地域農業青年組織等の活動支援、農業高校生等を対象とした就農への意識啓発、先進的な農業を体験させる海外研修を実施した。また、新規就農者の生産性向上や経営改善を図る取組みや、農業協同組合等による研修実施を支援し、地域農業のリーダー育成を行った。

区 分		事 業 内 容	事業費(円)
地 域 活 動 支 援 事 業	地域協議会事業	地域事情に応じた若手農業後継者育成対策を展開するため、「技術の向上」、「啓発」、「青年農業者育成」、「交流」に関する地域活動を地域協議会に委託して実施 ①地域協議会数：11協議会 ②委託した主な事業 新技術修得、シンポジウム、研修会等の開催、先進地視察、青年農業者グループ活動等	50,072,298
	若手農業者総合対策事業	若手農業後継者の活動を促進し、青年農業者の育成と地域農業の活性化を図るとともに、新規就農者の確保・育成に向けた環境を醸成するため、団体の活動を支援	
	青年農業士会活動	先進地視察研修の開催や、管理栄養士等をめざす学生を対象として食育講座等(2回開催)を開催 (青年農業士会員 令和2年3月末現在：74名)	
	青年クラブ等活動	先進地視察研修や農作業体験、消費者との交流会等を実施 農業青年クラブ等：21団体	
	青年農業士認定事業	地域農業推進のリーダーにふさわしい青年を青年農業士に認定 認定委員会：令和元年10月31日 認定証授与式：令和2年2月10日 新規認定者：17名	
	若手地域農業リーダー育成研修事業（海外派遣）	農業高校生・農業大学校生及び若手農業者を海外に派遣し、国際的な視野・農業知識等を修得させ、将来の地域農業リーダーを育成 派遣先：ブラジル連邦共和国 期間：令和元年10月23日～11月7日の16日間 参加人数：研修生13名及び引率指導者2名 事前研修：3回（令和元年8月、9月） 結団式、解団式：各1回	
	高校生就農講座開催事業	農業高校生等に対し、地域の青年農業士等による講演、農場視察等を行い、就農への意識啓発を実施 助成農業関係高校4校、135名参加	
	農業後継者等海外研修支援事業	農業後継者等が先進的・近代的な農業体験を国外で1年以上留学して行う実践研修への支援として、アメリカでの研修希望者1名について助成予定のところ、新型コロナウイルス感染拡大のため延期中	
農業後継者育成事業推進委員会の開催	農業後継者育成事業の運営、事業推進等について令和2年3月4日に委員会開催予定のところ、新型コロナウイルス感染拡大のため延期中（委員：22名）		

農業後継者等ビジネスリーダー育成支援事業	農業後継者等の経営の高度化・多角化を目的に、新たなビジネス展開のため海外での先進地調査・研修活動を支援 支援者：4名 研修先：台湾、韓国	
農業後継者地域リーダー育成事業 [2ヶ年実施事業]	親元就農した新規就農者が農業経営の規模拡大や生産方式の合理化等、経営改善を図る取組みに対する支援 支援者：24名 取組内容：農業施設、機械、繁殖素牛等の導入	
農業後継者経営研修事業	新規就農者等農業後継者の経営改善を図るために研修会を開催する農業協同組合に対する支援 実施団体：8農協	
農業後継者育成モデル事業 [2ヶ年実施事業]	農業後継者を育成するため、農業技術と経営に関する実践的な研修を実施する農業協同組合等に対する支援 実施団体：3農協等 (うち1団体は平成30年度承認)	

(2) 就農促進サポート事業（兵庫県青年農業者等育成センター事業）

農業経営基盤強化促進法に基づく「青年農業者等育成センター」として、就農相談、青年農業者育成指導業務を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費(円)
就農促進	就農相談 就農希望者向けセミナー・相談会 会場：神戸国際会館 令和元年7月28日 15名（楽農センターブース相談者） 令和2年2月16日 11名（ ” ） 会場：姫路じばさんビル 令和2年1月19日 6名（ ” ）	827,000
青年農業者育成指導	① 農業高校生等のつどいの開催等 令和元年11月14日 216名（関係者含む） 就農等に係る意向調査（回答：148名） ② 農業青年活動促進 ア 県農業青年技術交換大会兼青年農業者会議 令和元年11月28～29日（78名） イ 近畿地域農業青年会議 令和2年1月14日（16名） ウ 全国青年農業者会議 令和2年2月26～27日 中止	

9 「楽農生活」推進事業（定款第4条第1項第9号、10号）

(1) 兵庫楽農生活センター管理運営事業

ア 施設の管理運営、広報等

兵庫県から指定管理を受け、県民の誰もが「農」に関する様々な体験や学習、実践を通じて、自然と親しみ、自然と共に生きることを実感しながら、「食」と「農」を楽しむことができる「楽農生活」の実現に資するため、各種事業を進めている。プロポーザルにより運営参画している民間事業者や地元農業者グループ等と緊密に連携・協働し、年間を通じて質の高い多彩な体験事業を実施し、賑わいがあり、何度も訪れたくなるような感動や魅力を備えた施設（面積約14ha）として管理運営業務を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費(円)
管理運営業務	① 施設の利用者数：128,849人 ② 主要イベントの企画・実施：5回 計6,710人 ア 楽農生活フェア（春） (729人) 平成31年4月28日(日)開催 イ 楽農生活フェア（夏） (666人) 令和元年7月14日(日)開催 ウ 楽農生活フェア（秋） (617人) 令和元年9月22日(日)開催 エ 秋の感謝祭 (3,800人) 令和元年11月10日(日)開催 オ 楽農生活フェア（新春） (898人) 令和2年1月12日(日)開催 ③ 民間参画事業者による体験イベント等に関する広報、募集、受付、調整 ア【株式会社トーホー】 食体験(レストラン)：利用者54,870人 野菜栽培体験：97回(2,310人)開催 きのこ栽培体験：51回(564人)開催 里山づくり体験：49回(1,005人)開催 イ【兵庫六甲農業協同組合】 農産物加工体験：82回(1,270人)開催 農産物直売：利用者20,499人 ウ【老ノ口受託グループ】 果樹栽培体験：27回(1,428人)開催 エ【兵庫農機販売株式会社】 農機具展示、農機レンタル(23台) ④ 研修室利用件数：415回 (研修室A 151回、研修室B 174回、研修室C 90回) ⑤ ウッドデッキ手摺補修、合併浄化槽液中膜取替、放送設備更新等、施設の維持管理	54,000,285
広報・普及啓発業務	センター施設や事業内容等の広報、「楽農生活」の普及啓発等 ① ホームページやイベントチラシ等による情報発信 ② 市民農園の利用案内などの情報提供等	

イ 楽農学校等事業

「楽農生活」の実現に向けて、県民誰もが気軽に「農」の大切さを学び、体験し、実践できるよう、人材の育成や学習を支援する「楽農学校事業」や農作物栽培、加工、食などの体験・交流を支援する「楽農交流事業」、農業や就農に関心のあるサラリーマン等の新規就農を支援する「農業入門講座in駅前」等を実施した。

区 分		事 業 内 容	事業費(円)
楽 農 学 校 事 業	生きがい農業 コース	市民農園などで生きがいとして農業を楽しみたい人を対象に基礎的な農業知識・技術を修得する研修 研修人数：96名(上期50名、下期46名) 研修期間：上期：4月～8月、下期：9月～2月	27,504,500
	就農コース	本格的な農業経営を目指す人を対象に、総合的な農業知識・技術を習得する研修 研修人数：36名(15期18名、16期18名) 研修期間：8月から1年間	
	有機農業塾	有機農業の基礎や実践方法を学びたい人を対象に、学識者や有機農業実践者による座学と専用ほ場での栽培実習等の研修 研修人数：60名 研修期間：4月～1月(月1回 合計10回)	
楽 農 交 流 事 業	親子農業体験 教室	「農」への理解促進と自然とのふれあいを図るため、親子(家族)を対象に、「コウノトリ育む農法」による田植えから稲刈りまでのお米づくりや兵庫県特産の黒大豆の栽培を体験する教室 参加者数：144家族(576名) うち お米づくり：100家族(400名) 黒大豆づくり：44家族(176名)	
農業入門講座 in駅前		農業や就農に関心のあるサラリーマン等を対象に、農業の基礎的知識を習得する講座 土曜昼間コース：12回(6回×2期 元町駅前) 火曜夜間コース：12回(6回×2期 三宮駅前) 内容：講義と兵庫楽農生活センターの視察 受講者数：64名	
新規就農者 確保事業		楽農学校事業の就農コース研修生のうち、就農前の研修期間の所得を確保する「農業次世代人材投資資金(準備型)」の希望者に対して、交付申請等を支援 交付申請者数：2名	

ウ 都市農村等交流事業

① ふるさとむら活動支援事業

都市住民に対して農村ボランティアの募集・登録を行うとともに、ボランティア活動の受け入れを希望する地区等（「ふるさとむら」）に対し、ニーズに沿った人材を提供できるよう活動情報の収集・提供を行うなど、双方の活動を支援した。

区 分	事 業 内 容	事業費(円)
農村ボランティアの募集・登録	ホームページやチラシ、広報誌、主要イベント等を活用した情報発信 令和元年度新規登録者数：38名	1,959,000

② 都市農村交流バス運行支援事業

県内の各種団体等が体験、研修活動を実施するにあたり、グリーン・ツーリズムバス、消費地探訪バス、わが町PRバス、農山村応援活動バスを利用する場合、バスの借上げ経費の一部を助成することにより、都市と農山漁村の交流を促進した。

区 分	事 業 内 容	事業費(円)
グリーン・ツーリズムバス	田植え、間伐、地引き網等の農林漁業体験や研修を行うバス旅行 238台(うち1泊2日47台)	10,619,000
消費地探訪バス	農林水産物の流通施設や加工施設への調査研修各種行事への出展やフォーラム参加等のためのバス旅行 25台(うち1泊2日0台)	
わが町PRバス	産地PRや農林漁業体験、援農ボランティアに一般参加者を募集して実施する体験バス旅行 22台(うち1泊2日2台)	
農山村応援活動バス	農村ボランティア活動を行う際にふるさとむら又はボランティアグループ等が運行するバス旅行 11台(うち1泊2日0台)	
計	296台(うち1泊2日49台)	

エ 兵庫楽農生活センターのリニューアル

楽農生活実践者の裾野拡大や新規就農者の技術取得の強化を図るため、兵庫県が実施する兵庫楽農生活センターのリニューアル工事の一部を受託して実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費(円)
地域地産体験施設整備	ピザ窯整備	50,190,301
地元農産物等加工見学施設整備	レストランオープンキッチン化	
雨天対応施設整備	レストラン棟等ひさし設置	
駐車場舗装整備	西駐車場の駐車区画の舗装	
果樹摘み取り体験施設整備	ぶどう園整備	
いちご高設栽培環境整備	いちご高設栽培、摘み取り体験用設備を整備	
きのこ収穫体験施設空調設備整備	きのこ館の空調設備の改良	

【参考】兵庫県実施の兵庫楽農生活センターのリニューアル事業
主な整備内容

- ・ 果樹園、レストランオープンキッチン化
- ・ 環境制御システム、高設栽培ハウス、有機農業用ハウス
- ・ 収穫と食の一貫した体験の場（ピザ窯等）
- ・ 農福連携に向けた作業体験可能なイチゴ、きのこ館

(2) 市民農園の推進

「楽農生活」を普及・推進するため、市町や地元団体等と連携してひょうご市民農園(公社型)を1カ所整備するとともに、市民農園の情報提供等を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費(円)
ひょうご市民農園(公社型)	① 整備1カ所(姫路市) ② ホームページ等での市民農園情報の提供	2,099,989

10 次世代施設園芸モデル団地事業（定款第4条第1項第11号）

国及び兵庫県の補助金を活用して加西市に整備した「ひょうご次世代施設園芸モデル団地」について、兵庫県次世代施設園芸モデル団地運営協議会の方針のもと、兵庫県・地元市等と協力して、その施設を活用して事業を行う（株）兵庫ネクストファームに、施設を賃貸する事業を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費(円)
賃 貸 事 業	施設等の貸付賃料の収受、土地使用料等の支払	9,793,014

(注) 収益事業等(次世代施設園芸モデル団地事業)で実施

[参考]

施設の概要

区 分	事 業 内 容
箇 所	加西市鶉野町・野条町
規 模	敷地面積 約8ha
施 設	<ul style="list-style-type: none"> ・フェンロー型温室（約0.89ha×4棟／計3.6ha） ・統合環境制御設備 ・加温施設（木質バイオマスボイラー等） ・集出荷施設・倉庫 等
完 成	平成27年7月31日